

課題文タイトル：【子育て支援施設のあるコミュニティセンター】

参加者番号014番 TEAM PPM

## ◇ 設計主旨

本施設の計画において、様々な目的を持つ利用者を一つの施設として計画する中で、施設全体のつながりという点に配慮した。光庭を通じてプレイルーム・湯上りコーナー・待合いラウンジ・ホワイエ等を視覚的に繋げることで各階の利用者の動きを感じ取ることが出来るような計画とし、多世代の利用者の交流を図ることができる施設となるように計画をした。

(162字)

## ◇ 今回のコンペに提出をした感想

今回の課題文作成コンペの参加にあたって、サポーターのメンバーで今年受験生の方々に何か伝えることが出来ないかと思い参加をさせていただきました。

まず、施設の計画にあたり「どの様な施設にしたいか?」「その施設を利用する人はどんな人でどの様に使うのか?」と施設の構想を敷地条件も含めてイメージしながら、そのために必要な所要室をピックアップし、プログラム図を整理するところから始めました。

次にプランニングの段階では、模範解答例である以上ゾーニングや動線計画について基本的で且つ分かり易い計画とし、計画することを意図しました。このようにして第一案が出来ましたが、課題文を想定した時に5.5時間で解くとなると、シンプルがゆえに非常に簡単な課題になっていました。

そこで、分かり易い計画を絶対条件としながら、どの部分を「落としどころ」にするかを想定し、解き手のプランのどの様な部分を判断したいのかという意図も持ちながらプランを再度煮詰めることにしました。

出題者の視点を持ってこの図面は出来上がったということです。

メンバー同士でイメージした施設の使い方に沿っているか? 駐車場から施設に入り帰るまでの施設内部の計画を小人になったイメージで、プランのチェックと意見交換をしながらプランをまとめていきました。

また、エントランスホールの高さ10mの竹を含む坪庭、エントランスホールの吹抜、さらには中庭とその他のつながり等を図面化することで、立体的に建物を考えられるよう心がけたつもりです。

さらに、分かりやすいゾーン配置ではあるのですが、あえて変形の部屋も存在させることで、このような変形の部屋もあるんだ、変形でも大丈夫の部屋もあるんだ、ということを知っていただきたく思います。グリッドばかり気にしているとプランニングできないでしょう。

かといって、グリッドを全く無視してしまうと違和感が生じます。

プラスマイナス10%の捉え方も体感していただきたかったので、そのへんを考えながら、面積の数値を見ていただければと思っています。

よって、中庭と坪庭でエスキス最初にほんのちょっとビックリさせて、機能図は案外簡単で、安心させて、プランに入ると焦り、押さえ込む力がないと時間ばかりが過ぎるような課題といったことを意識しながらこの解答例を作成しております。

また、プランだけでなく理想系作図として採点者に伝わり易い作図表現として作図をしております。

中途半端に省略するのではなく、描くべきものはきちんと描かなければいけません。

今回参加されている方々の今後の参考になればと思います。

製図受験生の皆様 後半戦に向けて、この時期、精一杯頑張りましょう。